

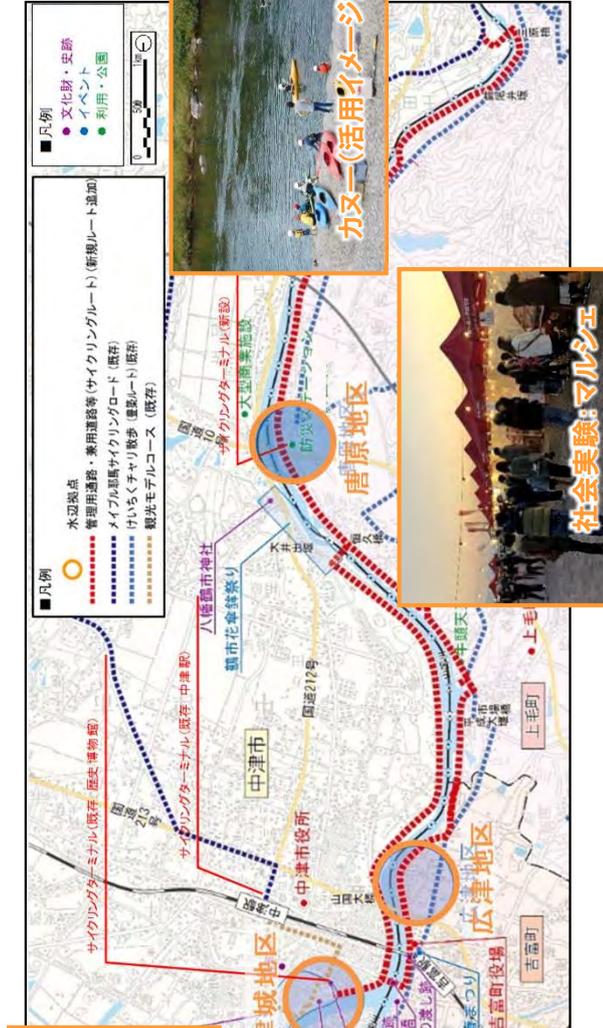
河川関係

山国川下流地区水辺整備事業【直轄】

新規

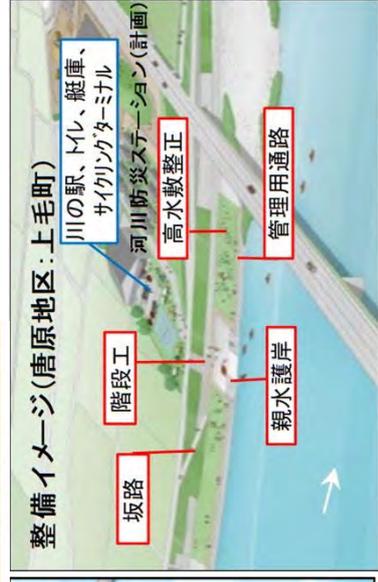
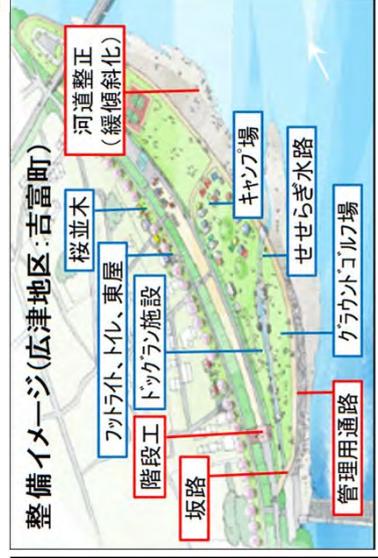
河川-2

- 上毛町では唐原地区で平常時の水辺活用を含めた河川防災ステーションの計画、吉富町では広津地区でマルシェ誘致をはじめとしたイベント拠点づくり、中津市では水辺空間まで拡大した「観月祭」等のイベント企画を進め、3地区とも水辺の活用機能が高まっており、また、水辺拠点や地域資源をサイクリングルートで結ぶことにより周遊性と魅力向上にも取り組んでいる。
- 山国川下流地区では令和2年3月にかわまちづくり計画が登録され、まちづくりと一体とた水辺空間を創出し、新たな賑わいを創出するとともに地域活性化を目指しており、国土交通省において、河川利用上の安全性等を向上させるため管理用通路等の整備を実施する。



事業費：59百万円

令和3年度
実施内容：管理用通路
等(広津地区)

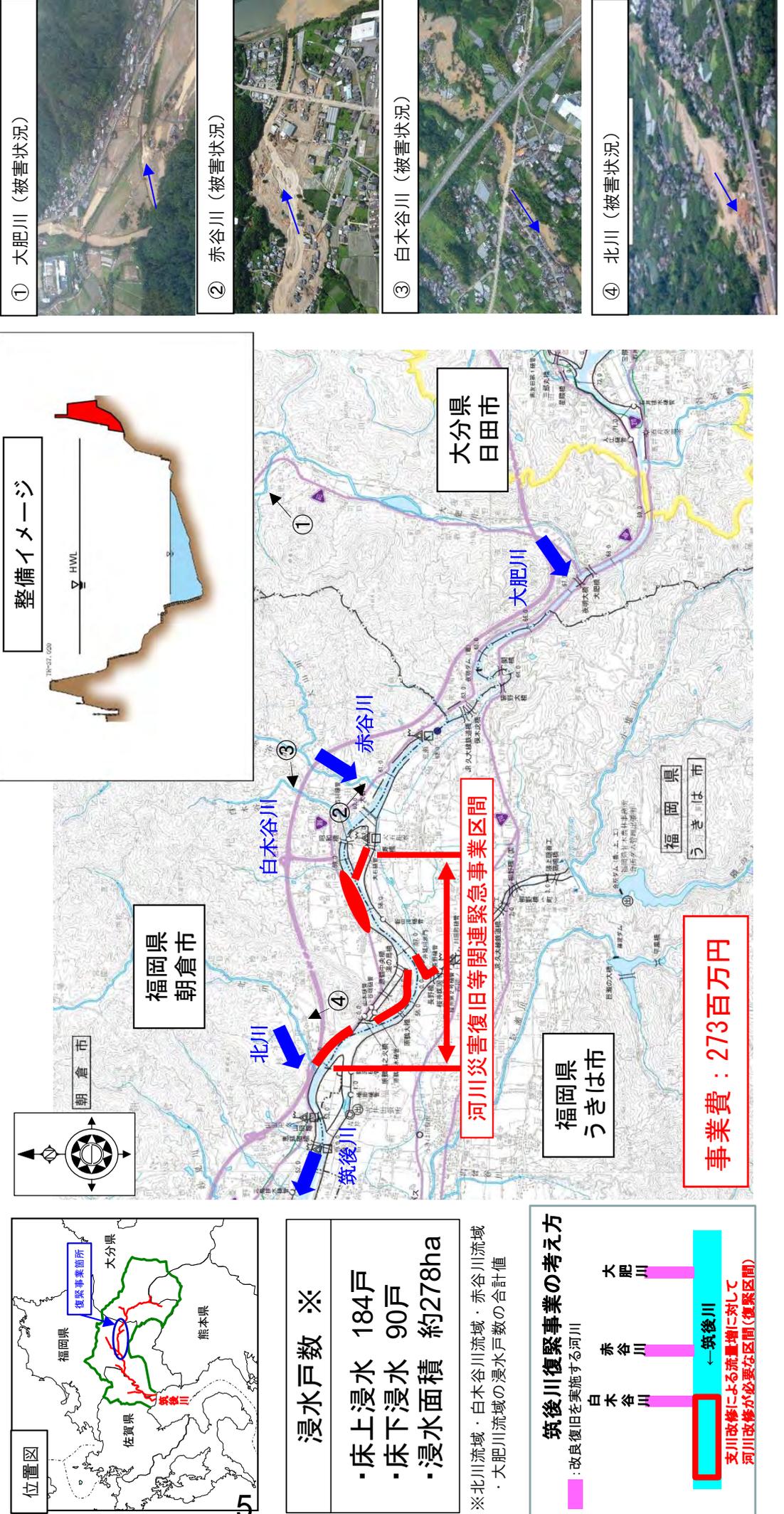


凡例
 整備内容(国)
 整備内容(市町)

筑後川河川災害復旧等関連緊急事業【直轄】

完成 河川-5

- 平成29年7月九州北部豪雨により、甚大な被害が発生した筑後川右岸の支川において実施する災害復旧事業等と併せて、筑後川本川においても、河川災害復旧等関連緊急事業として一体的に河川改修を実施。
- 令和3年度は、築堤、樋管改築を行うことで、本川右岸支川の流量増に対して、外水による家屋浸水被害を解消する。



筑後川水系赤谷川特定緊急砂防事業

継続

河川一6

■筑後川水系赤谷川特定緊急砂防事業(朝倉市)

○平成29年7月の九州北部豪雨を踏まえ、土砂災害による被害を防止・軽減するために筑後川水系赤谷川において緊急かつ集中的に砂防堰堤等の整備を実施。

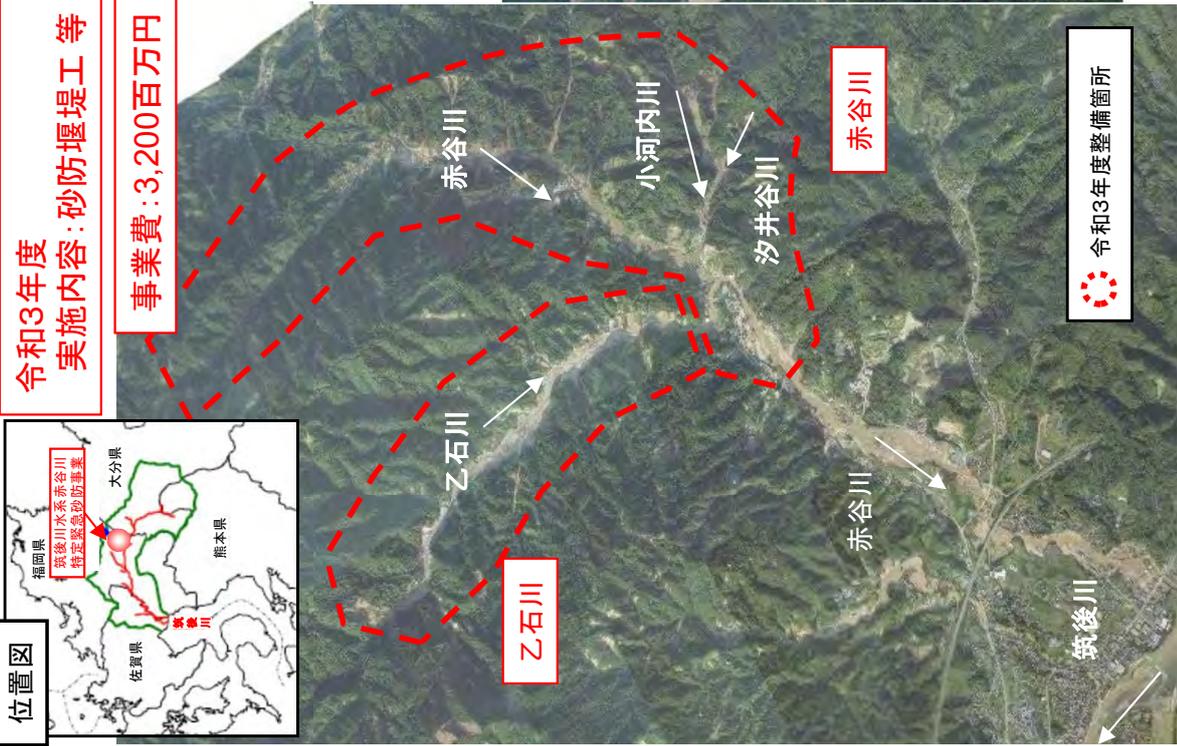
位置図



令和3年度

実施内容：砂防堰堤工等

事業費：3,200百万円



乙石川上流 斜面崩壊状況



集中豪雨による土砂災害(平成29年7月)

乙石川 流木被害発生状況



集中豪雨による流木災害(平成29年7月)



山腹崩壊・被災状況



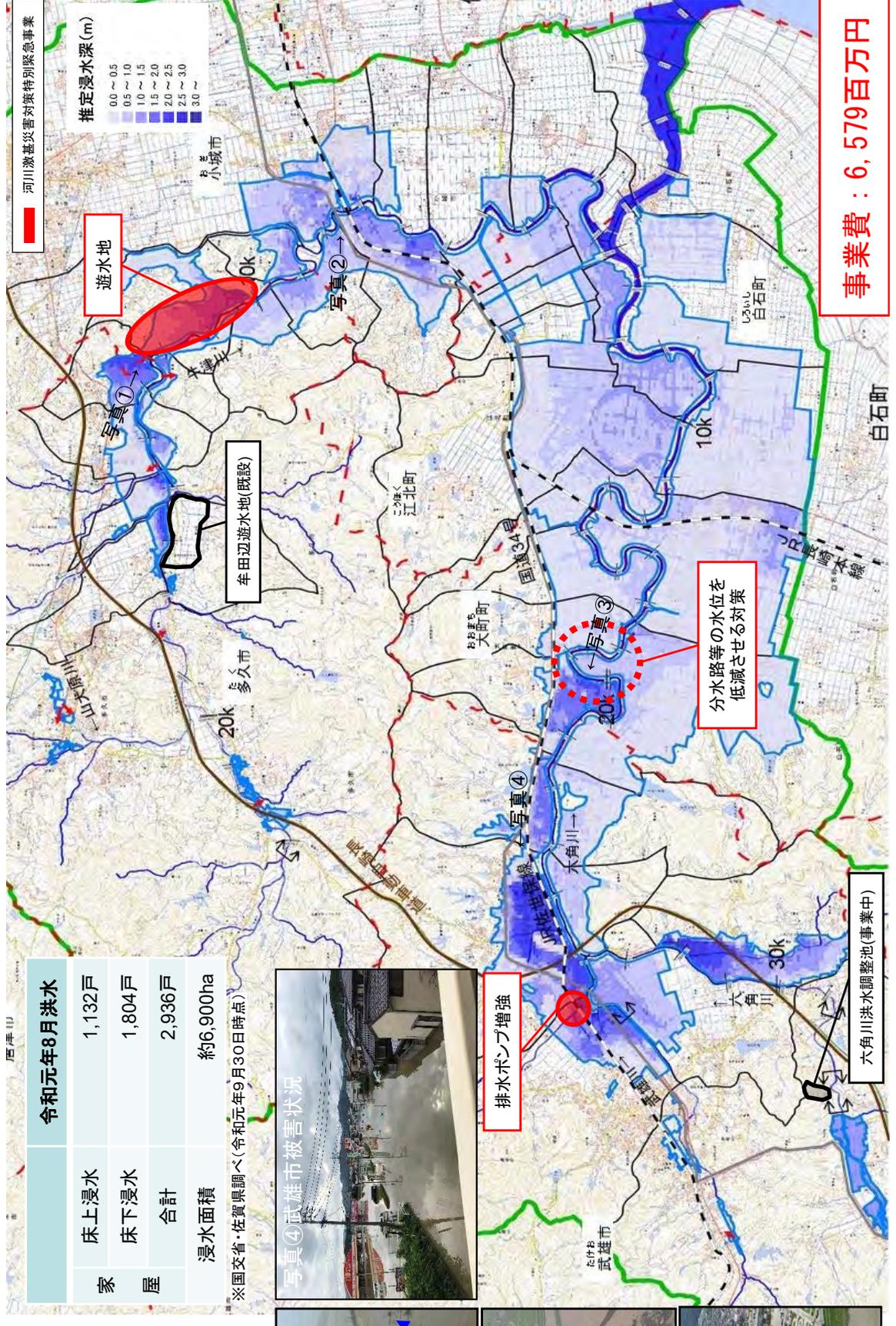
流木捕捉効果の高い
透過型砂防堰堤イメージ

六角川水系六角川・牛津川河川激甚災害対策特別緊急事業【直轄】

継続

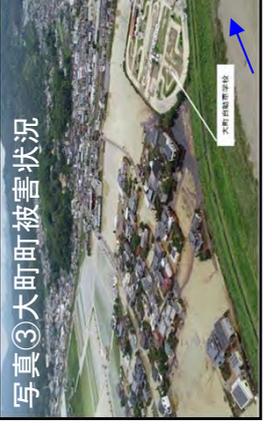
河川一七

- 令和元年8月豪雨では、六角川水系牛津川で観測史上最高水位を記録し、堤防からの越水、支川や水路からの氾濫により、六角川水系において甚大な被害が発生。
- 本事業を実施することにより、六角川水系において浸水被害軽減を図る。



令和元年8月洪水	
床上浸水	1,132戸
床下浸水	1,804戸
合計	2,936戸
浸水面積	約6,900ha

※国交省・佐賀県調べ(令和元年9月30日時点)



事業費：6,579百万円

城原川ダム建設事業【直轄】

河川-8

事業概要

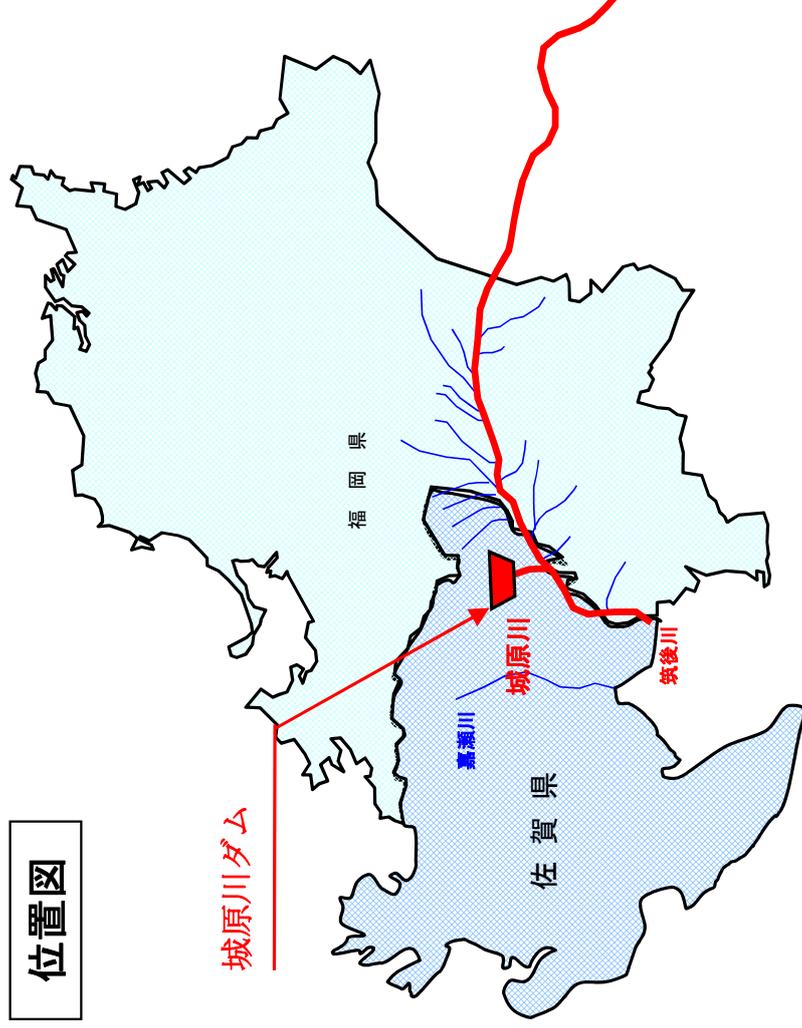
- 場所 佐賀県神埼市(筑後川水系城原川)
かんさきし ちくごがわ じょうぼるがわ
- 目的 洪水調節
- 諸元 堤高:約60m 総貯水容量:約3,550千m³
- 経緯 昭和54年度 実施計画調査着手
平成30年度 建設事業着手
- 事業効果 ダムによる洪水調節を行い、城原川ダム下流域の治水安全度の向上を図る。
- ◆洪水被害軽減を図る洪水調節専用のダム

令和3年度実施内容

- 本体関連の調査・設計、用地調査
- 付替道路の調査・設計、工事用道路工事等

事業費：872百万円

位置図



城原川ダム完成イメージ



早岐川大規模特定河川事業【補助】

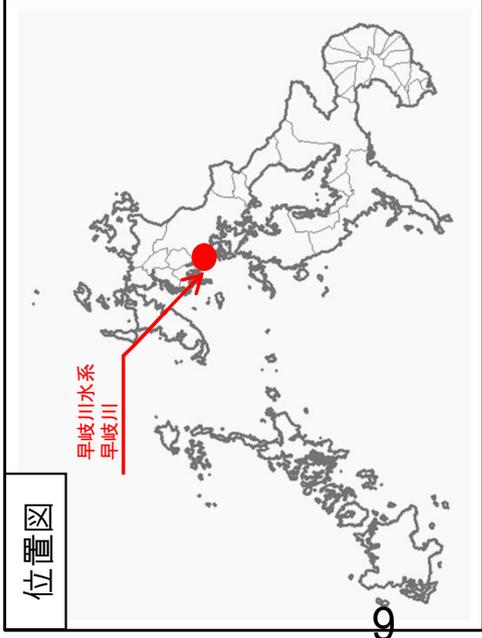
新規

河川-9

早岐川水系早岐川大規模特定河川事業(佐世保市)

早岐川水系早岐川は、河道が狭小なため、昭和42年7月の豪雨では浸水面積70ha、床上浸水535戸の被害、更に、平成27年7月の豪雨では浸水面積10ha、床上浸水82戸・床下浸水117戸の甚大な被害が生じた。

このため、大規模特定河川事業により河道掘削、橋梁架替等を集中的に実施し、早期に地域の安全性の向上を図る。



位置図



平面図

事業費：300百万円



被害概要

- 昭和42年
- ・ 床上535戸
 - ・ 浸水面積70ha
- 平成27年
- ・ 床上82戸
 - ・ 床下117戸
 - ・ 浸水面積10.1ha

事業実施のイメージ

